

開教 80 周年に向けて 記念事業 実行委員会からの発表 第 1 弾！

本年 2 月 11 日、万寿山で執り行われた開教記念祭の第二部にて、開教 80 周年記念事業実行委員会のメンバー、村瀬咲子さん、近藤純子さん、小坂裕美子さんが登壇し、自己紹介を兼ねて体験を発表しました。さらに周年大祭を企画する 80 周年の実行委員として、過去の大祭の楽しかった思い出や感動したことなどを紹介し、開教 80 周年に向けて展望を語りました。ここではその内容を掲載します。

1 体験の紹介

信念を持っておさがりすること、信仰態勢と家族信仰の大切さ

体験 1 近藤純子さん

私は 20 代の頃、近所の友人宅で鍋パーティーをしていた時、製図台につまずいてバランスを崩し、製図台の角で顎の下を切る大けがをしてしまいました。

出血が激しく廊下に血だまりができるほどで、友人たちが慌てて救急車を呼ぼうとしましたが、そのまま傷口をタオルで押さえて友人と共に歩いて帰宅しました。そのタオルは多量の血で赤く染まり、絞れるほど…。

自宅にいた母は、私の様子を見て急いで大量の御神塩を私の顎の傷口に押し当て、御神語奉唱しました。母は、痛みでもん絶する私にも御神語を唱えるよう言い、そばにいた伯母も神棚に向かって必死に御神語奉唱をしました。するとそれまで止まらなかった血が止まったのです！

私は、**教祖様**の御神力を目の当たりにしました。無事出血は止まりましたが、それから数日後、傷口は裂けたまま乾いた状態でした。ばんそうこうを買いに薬局へ行くと、その傷口を見た店主に、手遅れになる前に病院へ行くよう強い口調で言われ、私は大変落ち込みました。

祭司长からも、ただ**教祖様**にお願いすれば良くなると思っているのは間違いであることを注意されて反省し、すぐに発願すると、真っ白の膿のようなものが出て傷口を覆い、その後、それが乾燥してかさぶたになり、取れると傷口がふさがっていたのです。また、頸動脈のそばにも傷があることに気付き、御守護を実感するとともに、信仰態勢を整える大切さを学びました。

体験 2 小坂裕美子さん

私は幼少の頃から肌が弱く、関節の裏や指先などにいつもステロイド系の薬を塗っていました。また、二人の姉に比べて、薬を服用する機会が多くありました。

伯母家族の紹介で、12 歳の時に母と御縁を頂きましたが、私は名ばかりの信者でした。御縁を頂き、塗り薬の使用をやめると、しばらくして肌のかゆみが増し、特に指先に水疱ができて、匂いのある膿が出るようになりました。18 歳になる頃には皮膚病が全身に広がって、肌はケロイド状になり、かゆみや痛みで睡眠もままならなくなって、外出できなくなりました。人知ではどうにもならなくなり、やっと真剣におさがりするようになりました。そして、それまで入信を拒んでいた父が私の病気の治癒のため御縁を頂くと、それまで変化のなかった肌の状態が少しずつ良くなり、眠れるようになったのです。

重度の皮膚病を通し、これまで使用していた薬の毒素が排出されるとともに、先祖の因縁浄化の機会を頂きました。また、このことを通し家族信仰の大切さを痛感しました。

2 過去の大祭の思い出

教祖様・教母様にお喜びいただくこと、それが私たちの使命です。



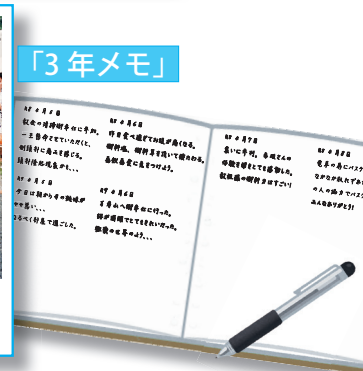
教祖様御生誕祭 御臨席の儀
御座所の脇に旗手隊が整列



教祖様御生誕祭
御車を先導する鼓笛隊の様子



教祖様御神座祭
当時は餅つきが行われました



教祖様御生誕祭
華やかな子供神輿でお祝い！



教祖様御生誕祭 前夜祭
幻想的な火の祭典



日本精神体育錬成運動会
全山を走るクロスカントリー

周年大祭は感謝の気持ちを表現させていただく大きな機会です。教祖様・教母様がお喜びになった「あの日、あの時、あの場面」の温故知新の旅から始めました。

村瀬 かつて教祖様御生誕祭の前夜祭では火の祭典がありました。あの時の幻想的な万寿山の景色が今でも脳裏に残っています。

近藤 私は少年部の鼓笛隊の一員として、御臨席の儀の際、光栄にも降臨閣から遙拝堂まで**教祖様御照覧**の下、**教母様**の先導をさせていただきました。さらに大祭後、**教母様**から過分な労いの御配慮を賜りました。今でも思い出すと感極まります。

奉祝行事の御神輿では、御座所の下へ担いで行くと、**教母様**にもすごい量の御神塩をまいりいただき、私たちを清めていただいたのが印象に残っています。

村瀬 以前は日本精神体育錬成運動会が行われましたね。母がクロスカントリーに出場したいと話していたことを覚えています。

小坂 純子さんのお婆さまがクロスカントリーに出場されたそうですね。4キロの山道を駆け巡る、かなりハードなものだったと聞いています。

近藤 そうなんです。祖母が 60 代の頃、健康にいただいた御礼の気持ちで出場し、精いっぱい頑張ってお走らせていただきました。

村瀬 教祖様御神座祭は、**教母様**から「皆で明るく楽しく元気に！」の号令の下、楽しい催し物がいろいろありましたね。特にお餅つきは見ていて楽しく、またおいしかったことを覚えています。そして竹馬競走。竹馬で若い事務局の皆さんが空中を飛ぶように爆走する姿は圧倒的でした。

感動と歓喜の大祭

常に明るく楽しく感動あふれる大祭では、**教母様**が奉祝行事で喜ばれていた御姿が、今でも脳裏に焼き付いています。

3

開教 80 周年に向けての展望

あの感動を今度は私たちの手で！

実行委員会ではいろいろなアイデアを話し合っています。その第 1 弾は「3 年メモ」の提案です。まず正しい信仰態勢で 80 周年に臨ませていただくために、日々の記録をメモしましょう。

かつての標語「感謝と記録は信者の務め」より、身近で些細な事から記録にとどめ、自身を振り返る習慣を付ける。後になって、原因結果がひもとかれたり、壮大なお導きのストーリーが見えてきたりします。

令和 7 年の教祖様御生誕祭からお分けしますので日々携帯し活用しましょう！